

1000年つづく幸せな地域のみらいをつくる 「一般社団法人 未来社会推進機構」を設立

2021年5月7日
一般社団法人 未来社会推進機構
代表理事 吉越 明人

わたしたちは、自然豊かな地域の資産（自然資本）を活かし、
関わる方々との共創（社会関係資本）をつうじて、
サステイナブルでウェルビーイングな地域の未来「1000年集落」を提案・実践するため、
「一般社団法人 未来社会推進機構」を設立しました。

人は、自然の一部。人の心身もまた、ひとつの自然。里山に残された古き良き伝統や文化を礎に、新しい「みらいものがたり」を紡ごう。自然と人、人と人との豊かな関係が融合した、Well-being な未来社会を創造しよう。そんな思いを胸に、私たちは活動を始めます。

大量に作り、大量に消費し、大量に捨てる。そんな量的拡大をベースとした社会システムは限界に達し、様々な喫緊の課題が山積みです。わたしたちは、子どもたちのため、そして自分たちのために、サステイナブルな仕組みに支えられた循環型社会「1000年集落」の実現を目指し、足元にある小さなコミュニティで、目的を同じくする仲間とともに、地域の宝を活かし、くらし方やなりわいのたて方をバージョンアップしていきます。そして、その活動が、地域の未来の礎となり、これからの社会のあり方の一つのモデルとなり得ると考え、これら社会起業のアプローチを用いて地域の課題解決に取り組んでまいります。

【法人の概要】

(1) 設立概要

- ・名称：一般社団法人未来社会推進機構（非営利型法人）
- ・主たる事務所 飯山市大字瑞穂6 1 1 7番地2
- ・設立年月日：2021年3月1日
- ・役員等（4月1日現在）

理事長	吉越 明人
副理事長	出澤 俊明
専務理事	楨尾 茂樹
理事	大槻 令奈
監事	小山 武仁
- ・事業年度：3月1日～2月末日



一般社団法人
未来社会推進機構

(2) 主な事業内容

① 「いいやまスタイル」での 持続可能な循環型社会への移行を目指して

「日本のふるさと」とも称される長野県飯山市は、誰しものが懐かしさを感じるような、美しい里山で

す。市内には、「国重要文化的景観」に選定された小菅をはじめ、自然に寄り添った生活や、古から伝承される信仰・地域文化を生活の基盤に色濃く残す集落が数多く存在し、「おてんま」と呼ばれる地域の共有資産を保全維持するためのボランティアな共同作業などが大切に受け継がれています。わたしたちは、この古き良き伝統を現代的にアレンジし残している在り方を、敬意をもって「いいやまスタイル」と呼びたいと思います。SDG's 的な価値観が重要性を増し、循環型の社会・経済への移行が待ったなしとなった今、この「いいやまスタイル」のくらしや文化の中には、その実現に向けてたくさんのヒントがある。私たちは、そう確信しています。古きよきものを新しきものと組み合わせ、人と人が暖かく交流するマインドフルでウェルビーイングな「くらし方」や「なりわいの立て方」を実現するモデルを作り、持続可能な循環型社会への橋を架けていきたい。そんな思いを持って、活動していきます。

②オープンラボ「じねんぼう」を拠点にした共創環境づくり

想いを共にしてくださる方々とともに、古き良きものに新しいアイデアを加えて、サステイナブルな地域づくりの仕組みを共創する。その拠点として「オープンラボ じねんぼう」を運営してまいります。じねんぼうは、「自然坊」。natureとしての“自然”と、仏教用語の“じねん”（人為をはなれ、おのずからそうなる）、2つの意を込めて名付けました。心身にやさしいメニューと社会関係の場を提供する「Café&Space めぐる」や、コワーキングやボランティアな活動のために来てくださる方々にご利用いただける広間や、いくつかのルームから成る多目的スペース「MIRAI-Base むすぶ」を用意しました。施設裏の屋外には、雄大な北信五岳の景観が楽しめる畑と広場「畑Café そらのした」もあります。思いさまざま、参加者さまざま。イベント・プロジェクトの開催、提案・立案・検討・議論、大歓迎の、未来共創のための施設です。

③社会事業としてのローカルビジネスの実践と起業支援

わたしたちは、自らマイクロ起業を実践すると同時に、起業を志す方々への支援を実施してまいります。地域にあるアセットの掘り起こしや再利用サービス、かつて修験道の聖地だった地域の特徴を生かした心身養生の研修やリトリート、オーガニック農業、エネルギーの地産地消の仕組みづくり、ITを活用した地域課題解決、などに取り組んでまいります。

④産官学連携による地域での循環経済圏の構築

行政、企業や商工会議所など、学校、地方金融、地域メディア、そしてローカルビジネスを志す起業家の方々などが連携し、地域経済が活性化していく。そういったエコシステムが自律的に回っていく仕組みの提案・検討・コーディネート・構築をしてまいります。

(3) 一般社団法人未来社会推進機構のロゴが表すもの



カタカナの「ミ」の形をした3本の線で構成されるロゴは、私たちが目指す未来社会を現しています。3本の線はアースカラーで構成され、緑色は、「自然」、オレンジは「持続性」、青色は「変化」を意味します。また、一番下の黄色のマルは、仲間の思いが詰まった希望が球状になったものです。想いを同じくする仲間が協力し、今ある自然やあるがままを受け入れ、そこに新たな価値を加えることにより、持続的な地域の未来を創っていくという意味を込めました。

(お問い合わせ)

一般社団法人 未来社会推進機構 副理事長 出澤俊明 (広報担当)

電話 0269 (67) 0520

携帯 090 (4919) 8429

FAX 0269 (67) 0521

E-mail dezawa@mirai-ss.org

WEB mirai-ss.org